中原児童センター

ベビーマッサージ

日時：11月9日（月）10：30～11：30
講師：一般社団法人品川港助産師会
対象：おおむねハイハイ前のお子さん
定員：12組
持物：バスタオルまたはおくるみ、水分補給できるもの
申込：10月1日（木）～来館または電話受付

おしえてスラックライン

日時：11月12日（木）16：00～17：30
講師：我妻　吉信氏
対象：幼児親子～小中高生
備考：スカート不可。ズボンを履いてきてね。

東五反田児童センター

はいはいよちよち　絵本の時間

日時：11月5日（木）10：30～11：30
講師：児玉ひろ美氏（JPIC読書アドバイザー）
対象：0～2歳児親子　先着順15組程度
申込：10月8日（木）～10月31日（土）来館または電話受付

親子ヨガ

日時：11月14日（土）10：30～11：30
講師：中鉢友梨先生
対象：0、1歳児親子
定員：12組
申込：10月26日（月）～来館または電話受付

お問い合わせ：中原児童センター 03-3492-6119
東五反田児童センター 03-3443-1629

区民まつりが行われました

大崎第一地区では、今年も各地で品川区民まつりが開催されました。

6月に開催予定だった五反田ふれあい水辺広場会場は台風のため中止になってしまいましたが、7月には第三日野、第四日野、第一日野小学校を会場として、各会場で町会・自治会等による模擬店、ゲームコーナーや盆踊りなどが行われました。子どもたちが楽しそうにゲームに興じ、模擬店のかき氷や焼きそばなどを頬張っていたのが印象的です。まつりの最後、参加賞のお菓子を受け取った子供たちの笑顔から、素敵な夏の思い出となったことがうかがい知れました。

大変暑い時期の開催となりましたが、どの会場も多くの方にご来場いただき、大きな事故・けが等もなく、今年も無事にまつりを終えることができました。参加してくださった皆様、運営にあたりご協力いただいた皆様、ありがとうございました。（事務局）




品川区内の大使館・領事館をご存知ですか？

品川区には地の利もあってか15か国の大使館や領事館があります。

大使館側の求める場所として、騒乱がなく警護がしやすい町ということもあるそうです。住みやすい町として品川区が選ばれているのかもしれません。また区内では、大使館と学校や様々な区の施設との交流も行ったりしています。今回から断続的に区内の大使館やそのお国情報等をご紹介します。どうぞ、お楽しみに！

大使館（13か国）
1. インドネシア共和国　2. 北マケドニア共和国　3. コロンビア共和国
4. ザンビア共和国　5. ジブチ共和国　6. タイ王国
7. タジキスタン共和国　8. ブルネイ・ダルサラーム国
9. ベラルーシ共和国　10. マリ共和国
11. ミャンマー連邦共和国　12. コートジボワール共和国
13. ボツワナ共和国
領事館（2か国）　1. ブラジル連邦共和国　2. ペルー共和国

川柳・俳句

夕やけに　電車行き交い　安堵する
西五反田在住　大島 道子

水たまり　雨粒はねる　夏の暮れ
品川区在勤

地域ニュース「はなぐるま」では、
川柳・俳句・イラストを募集しています！
右記二次元コードから、ぜひご応募ください！

総合防災訓練　西五反田谷山会

今年も熊本県など日本の各地域での大きな地震や、大雨による浸水被害などの自然災害が頻繁に発生していますが、日頃からわたしたち一人ひとりが平常時の備えと災害時の行動に関する防災意識を持つことで、自身や家族を守ることに繋がります。

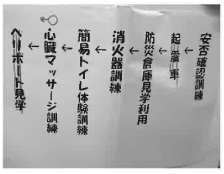
品川区内の各町会・自治会等では、災害発生時の地域での被害を最小限に抑えるため、様々な防災対策に取り組んでいます。

9月5日（土）には、行政や消防署の協力のもと、西五反田谷山会が主催する防災訓練が行われました。雨天の中、地震発生を想定した緊急地震速報（テスト用）の受信連絡をうけて訓練が開始され、参加者は安否確認連絡や心臓マッサージとAED、消火器の操作、簡易トイレの使用、防災倉庫の資材確認と、様々な訓練メニューを体験しました。

地域の防災意識をより一層高める良い機会となり、訓練に臨む皆さんの姿を拝見して、地域が一体となって行う定期的な防災訓練や啓発活動がとても重要であるとあらためて認識しました。（事務局）





編集後記

令和8年熊本地震、令和8年8月千葉豪雨で被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。また、記事を書いている本日（8/27）には、石川県・富山県で線状降水帯が発生し、こちらも心配な状況です。

世界的にも地震や熱波、山林火災などの災害に見舞われ、自然の脅威と理不尽さを痛感、地球規模で、今、気候変動の転換点に立っていることを実感させられた夏でした。

そのような中、私たちは何ができるでしょうか。

小さな私たちができることは些細なことかもしれませんが、目指す未来を共有し、行動に移すことが大事なのだと思います。

気候変動による影響を少しでも減らし持続可能な社会を次代につなげるために、改めて、各々がそれぞれの考えのもと、できることに取り組む必要性を感じています。（外山）

● 地域の方が協力し意見を出し合って「はなぐるま」を作成しております。ご意見・ご感想や川柳・俳句・イラストなどお気軽にお寄せください。
編集委員も随時募集中です！一緒に紙面作りをしましょう。大崎第一地域センター　電話 3491-2000　までご連絡ください。